



2020年5月11日

各位

会社名 神鋼鋼線工業株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 河瀬 昌博  
 (コード番号 5660 東証2部)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 吉田 裕彦  
 (TEL. 06-6411-1051)

2020年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異および  
 営業外損失と特別損失の計上に関するお知らせ

2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)において、2019年11月6日公表の2020年3月期の連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。また実績値について、営業外損失(持分法による投資損失)、特別損失(環境対策費用)を計上いたしましたので、合せてお知らせいたします。

## 記

## 1. 2020年3月期の連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 純利益
前回予想 (A) (2019年11月6日発表)	百万円 29,500	百万円 680	百万円 600	百万円 430	円 銭 72.73
今回実績 (B)	30,281	912	785	430	72.83
増減額 (B-A)	781	232	185	0	
増減率 (%)	2.6%	34.1%	30.8%	0.0%	
(ご参考)前期実績	28,851	610	558	28	4.83

## 2. 実績値について(差異の理由および損失計上)

当社の販売環境は前回予想時よりも世界的な自動車需要減少により急速に悪化し、またコスト面でも資材価格や運送費等の値上がりを受け一段と厳しい環境となりましたが、各事業での販売拡大、製品構成の改善、販売価格の是正、徹底したコスト削減などにより、上記表のとおり、売上高、営業利益、経常利益について前回予想値を上回る結果となりました。

尚、実績値については、以下の損失を計上いたしました。

## (1) 営業外損失の計上

持分法適用会社である TESAC USHA WIREROPE CO., LTD において、今後の業績見通し等を勘案し、固定資産の減損処理を行ったため、持分法による投資損失として142百万円を計上いたしました。

## (2) 特別損失の計上

「ポリ塩化ビフェニル(以下、PCB)廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」により義務付けられている PCB 廃棄物の具体的な処理方法・スケジュール・費用等を検討した結果、環境対策費用108百万円を計上いたしました。

以上